

■ まさど楽♪とは…

まさど楽♪（まさどうらく）は、敷き均して水をかける、施工の簡単な土舗装です。良質な自然土を粒度調整し乾燥したものが基材で、固化材・混和剤を混合しています。仕上がりは十分な圧縮強度に加え、土としての自然な透水力・保水力を備えています。

● 遊歩道・公園・広場



● 植樹帯・中央分離帯



● 神社・寺院の参道



● 法面



● 庭先・犬走



● 玄関まわり・駐車場



● 霊園・墓地の歩道や墓石まわり ● 造成地・遊休地 など

防塵（土埃を抑える）効果や、夏場の照り返しによる温度の抑制効果があります。水溜りもできにくく、また保水性があり、気化熱により気温の上昇を抑える効果もあります。

■ 施工手順



① 敷き均し 材料を袋から取り出し、コテなどで平坦に敷き均します。

【使用量の目安】

- 一般的な施工 ----- 厚さ3cm 約 3袋/㎡
- ・ 載荷重の大きい場合 ----- 厚さ5cm 約 5袋/㎡
- 法面の施工など

（路盤の条件・ロス率などによりこの限りではありません。）



② 散水 噴霧器・ジョウロなどで散水し、表面を均一に濡らします。表面が乾燥しないよう散水を繰り返す、全体を湿潤させます。
※季節毎の散水目安 夏時期：4L/袋 冬時期：2L/袋 春・秋時期：3L/袋



③ 養生 丸一日は雨が降らないようにします。1～2日程度で固化状況を確認してご使用願います。

● 施工上のポイント

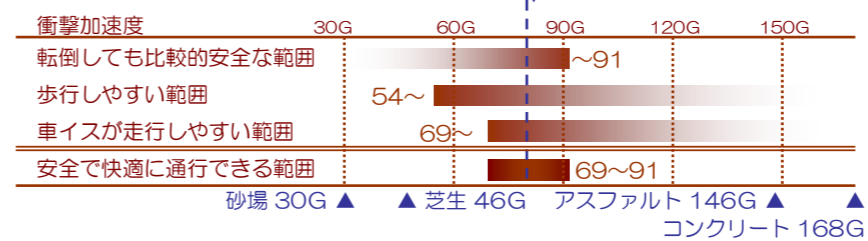
- ・ 施工場所が軟弱な場合、ひび割れなどの原因となります。
- ・ 霧状の丁寧な散水で表面がきれいに仕上がります。（噴霧器・シャワーヘッドの霧状など）
- ・ 勢いよく散水すると表面が乱れたり、砂が大量に浮いたり、強度不足の要因となります。
- ・ 過剰な散水により表面に水が浮いてしまうとハッカ（白華）することがあります。
- ・ 夏季など施工条件により乾燥しやすい場合、水分が足りず固化不良となることがあります。
- ・ 冬季の施工で最低気温が5℃を下回る場合、凍害しやすいので施工をしないでください。

■ 性能一覧

（下記性能は一例です。施工条件により異なりこの限りではありません。また、下記性能を保証するものでもありません。）

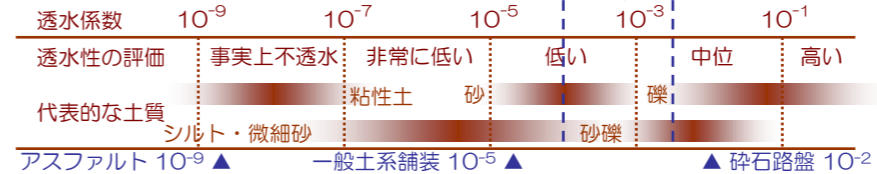
● 衝撃加速度：約80G

【衝撃加速度と安全性・歩行性の関係】



● 透水係数：10⁻⁴～10⁻³cm/s 程度

【土質・舗装体と透水係数の関係】



● 夏場の温度比較

舗装材	温度 (°C)
まさど楽♪	39.8°C
アスファルト舗装	64.3°C
一般土系舗装	42.2°C

（この日の外気温：35.6°C）

● 保水量：約15%（重量比）

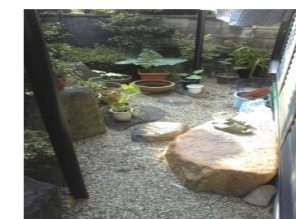
● 圧縮強度：4.0N/mm²以上
≒ 40kgf/cm²以上
（一般に圧縮強度が2.0N/mm²以上では植物の生育が困難といわれています。）

● 曲げ強度：2.0N/mm²以上
≒ 20kgf/cm²以上

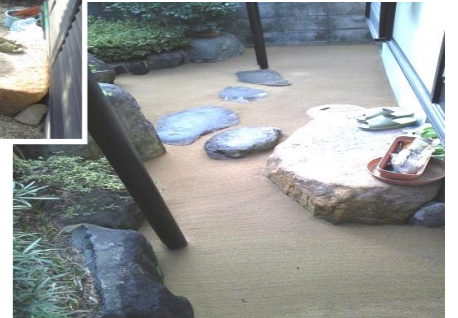
■ 施工例 Before After



←Before・After ↓



←Before・After ↓



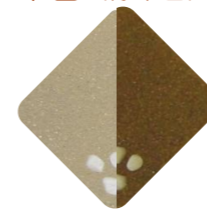
★ まさ土とまさど楽♪の違いとは!?

一般にまさ土（真砂土）とは花崗岩の風化した土壌のことで、関西以西の山を中心に広く分布しています。花崗岩は構成している鉱物結晶の熱膨張率が異なるため、温度変化により非常にもろく崩れやすいものです。つまり、まさ土を骨材とした土舗装は骨材強度が低く、劣化・風化による舗装体の機能低下が早くなります。

まさど楽♪では、このような弱点を克服するべく、まさ土とは異なる強度の高い（炭酸カルシウム系の）細砂を骨材としています。また、数種類の粒度の砂を配合し、粒度分布のよい『良質なまさ土』の粒度に調整することで、まさ土を用いた土舗装とは異なる、品質の高い土舗装材としています。

■ 色調

茶色（標準色）



淡色



（左半分が乾いた状態、右半分が湿った状態です。印刷の都合上、実物とは色が異なる場合があります。また、自然の土を原料にしておりますので、出荷ごとに色調・風合いに若干の差が生じる場合があります。）

■ 荷姿

20kg/袋（ポリ密閉袋）

1 t/フレコン袋

